



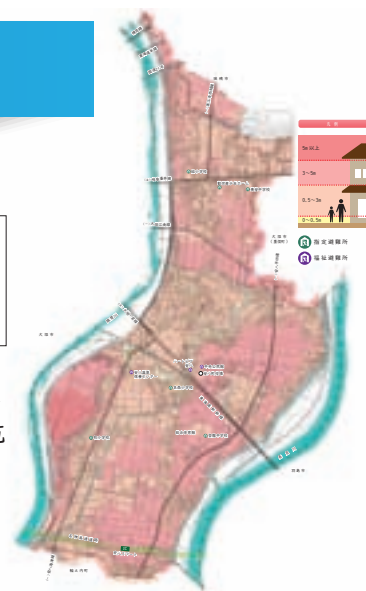
防災について考えよう

「避難行動判定フロー」を確認しよう

台風・豪雨時に備えてハザードマップと合わせて確認しましょう。ハザードマップは浸水や土砂災害が発生する恐れの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

安八町ハザードマップ

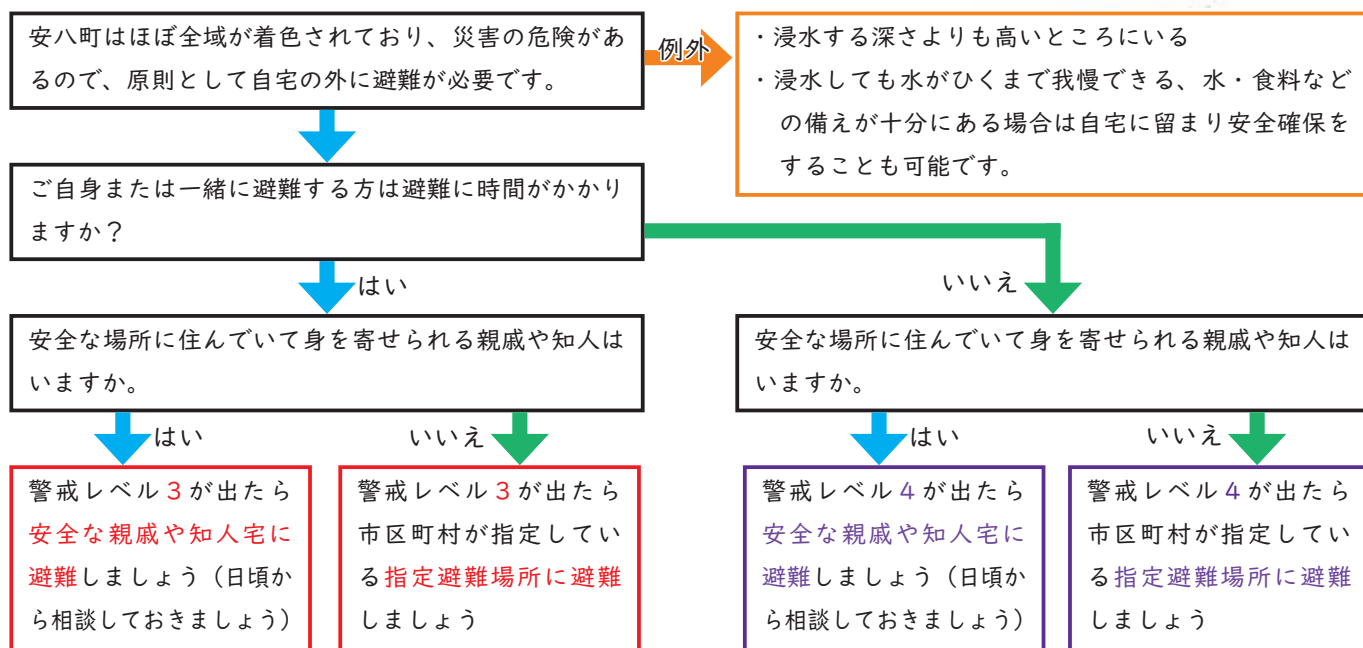
<http://www.town.anpachi.gifu.jp/category/gyousei/bousai/h-map/>



「自らの命は自らが守る」意識を持ち、日頃から避難について家族と話し合しましょう。また、平时に自宅から避難場所に向かう経路を2～3コース想定しておき、危険箇所が無い確認しながら実際に歩いてみましょう。

避難行動判定フロー

洪水ハザードマップ（揖斐川）▶



警戒レベル別の取るべき行動

警戒レベル	とるべき行動	避難情報等	状況
警戒レベル 5	命を守る最善の行動	災害発生情報	すでに災害が発生
警戒レベル 4	危険な場所から 全員避難	避難勧告・避難指示（緊急）	人的被害の発生する可能性が非常に高い
警戒レベル 3	高齢者 障がい者 乳幼児 などとその支援者は避難	避難準備・高齢者などは避難開始	人的被害の発生する可能性が明らかに高まっている
警戒レベル 2	ハザードマップ等で避難方法を確認	大雨注意報・洪水注意報	—
警戒レベル 1	災害への心構えを高める	早期注意情報	—



避難とは難を避けること、つまり安全を確保することです。

安全な場所にいる人は、避難する必要はありません。